



第 3 2 号
平成 1 8 年
7 月 発 行

笑いの処方箋について

いわき寄席 おおいに笑いましょ

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 滉

須田医院主催「いわき寄席」は平成元年に始めてから十八年が経ちました。近日常に百回になります。患者さんやご家族に健康な笑いを提供できたらと思いついてはじめてのがきっかけです。一ヶ月に一度の厳しい開催の日程でしたが、多くの市民の方々のご協力を得ながら乗り越えてきました。さらに、この寄席の趣旨に賛同して集まってくれた東京在住の一流の噺家さん達の連携が、この会を盛り上げてくれました。

ところで医療や福祉の現場に笑いを広げ、患者や高齢者の自己免疫や自己治癒力を高めようという「笑い療法士」が誕生しました。「癒しの環境研究会」が設けたこの「笑い療法士」には、全国から医師や看護師、サラーマン、主婦、教師などさまざまな職種の方々が応募されたとの事です。心理学や脳の仕組みなどの講義を受けた四十九人が認定されたと報道されました。

代表世話人である日本医科大学の高柳和江助教授は「笑いは病気になってからだけでなく、病気の予防にも役に立ちます。『一日五回笑って、一日五回は感動する』という笑いの処方箋を広めてください」と訴えています。私も外来診察患者さんの処方箋を出すときに、

- 一、「わっはっは」と声をだし
- 二、笑って笑って 一日五回

三 全てに感動と感謝の気持ちを持つ 一日五回
お薬をのむときにも、食事の前後にも試してみてください。と指導したい
と思います。

これだけでも、病状半減請け合いです。
笑いは自分だけでなく周りも和やかにします。職場のコミュニケーションはお互いの尊敬から始まりますが、無愛想な職場ほど、このパイプが詰まっているに違いありません。笑いは詰まりを取る、優れた方法の一つです。笑いの実践に徹し、お互いの関係をスムーズに運んでみましょう。望洋荘に住む高齢者の方々は、皆さんの明るい笑いと、温かい微笑みに安堵の念を生じさせるのです。あなた達こそ福祉現場での隠れた「笑い療法士」なのです。



のれん作りの光景

お風呂場の入口にのれんを掛けようと、職員達でのれんを作る事になったのですが、ある職員から入居者様に作って戴けないだろうか？というのが事の始まりでした。
職員が一定程度準備をいたしましたが、裁縫の方は入居者様にお願いして作成開始。さすがに昔とった杵柄、まだまだ若い者には負けないとばかりに、あっという間に縫い上げてしまいました。

「小玉ダムにドライブに行って来ました。」四倉ユニット



梅雨がつつき中々外に出る機会が無かった為に、久しぶりの外出となりました。管理塔の近くには平坦で広々とした新緑に囲まれた素敵な場所がありました。そこで入居者様は車椅子を自走または歩いての散策をされていました。皆さん久しぶりの外出と言うこともあり、笑顔がたくさん見られ話もつきない様子でした。帰りの車中でもまだ話がつきず、望洋荘までの道のり約1時間がすごく短く感じました。皆さん本当に楽しい表情をされていました。

七月三十一日(月)『小玉ダム』までドライブに行きました。梅雨もあけていよいよ真夏という時でしたが、幸運なことに少し日差し弱くも過ごし易い陽気でした。小玉ダムは小川町に夏井川を水源に平成九年三月に完成したダムです。貯水量は二二九三〇千m³で主に工業用水及び上水道水として使われています。

「お食事ツアー」薄磯ユニット・勿来ユニット



『薄磯ユニット』はエブリアにて買い物をしてから、昼食はそれぞれ分かれて、回転寿司に行ったり、フードコートにて好きな物を食べ楽しみました。残念な事にカメラを忘れてしまい写真がなく申し訳ありませんでした。『勿来ユニット』は好間にあるスタミナ太郎にて昼食を食べて来ました。バイキング方式で“好きな物を好きなだけ”特にお寿司・焼肉・まんじゅうなどが人気で、たくさんの物を楽しく食べました。

七月四日(火)薄磯ユニットの入居者様五名がエブリアへ、七月二日(月)に勿来ユニットの入居者様六名スタミナ太郎へお食事ツアーに行きました。職員が各自ひとりづつ入居者様に付き添いましたので、それぞれの要望に答える事が出来たと思います。

「いわき寄席」出演者の色紙集から

「いわき寄席」出演者の直筆の色紙を紹介致します。

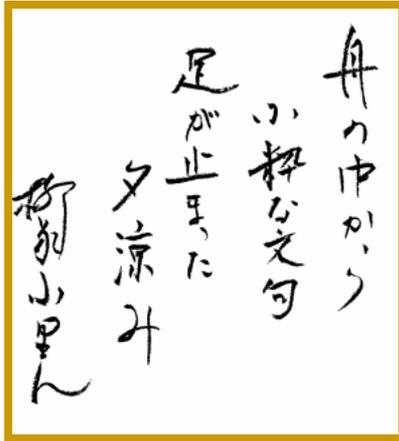
柳亭 小里ん 師匠の作品です。

第八回記念いわき寄席 平成二年十月二日

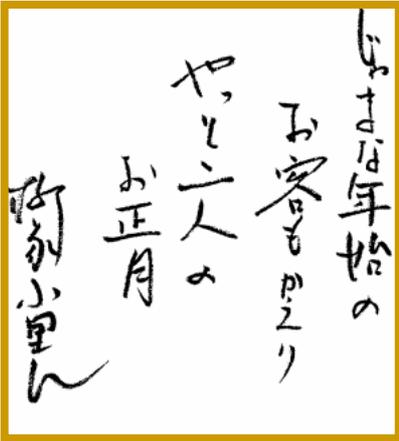
(演目) 不動坊、子別れ(通し)

第三六回記念いわき寄席 平成七年八月七日

(演目) 湯屋番、夏泥、五人回し



柳亭 小里ん 師匠
(第8回いわき寄席 H2.10.22)
舟の中 小粋な文句
足が止まった 夕涼み

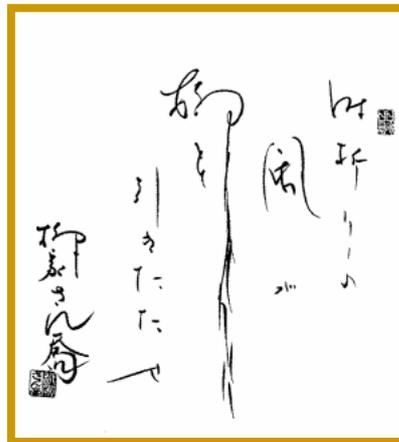


柳亭 小里ん 師匠
(第8回いわき寄席 H2.10.22)
じゃまな年始のお客もかえり
やっとお正月

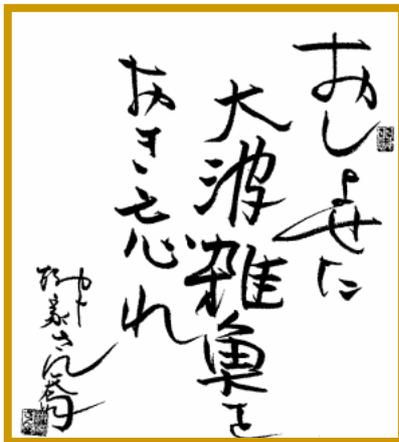
柳亭 さん喬 師匠の作品です。

第十五回記念いわき寄席 平成四年二月十一日

(演目) 初天神、抜け雀、禁酒番屋



柳亭 さん喬 師匠
(第15回いわき寄席 H4.2.11)
時折の 風が 柳を 引きたたせ



柳亭 さん喬 師匠
(第15回いわき寄席 H4.2.11)
おしよせた 大波 雑魚を おき忘れ



柳亭 さん喬 師匠
(第15回いわき寄席 H4.2.11)
気に入らぬ 風にも 柳身をかかせ

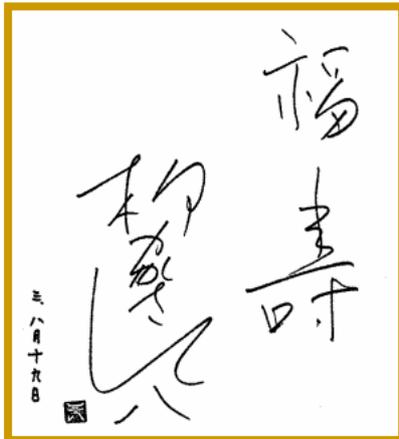
柳亭 さん八 師匠の作品です。

第十三回記念いわき寄席 平成三年八月十九日

(演目) 初天神、抜け雀、禁酒番屋

第五二回記念いわき寄席 平成十年九月八日

(演目) 初天神、抜け雀、禁酒番屋



柳亭 さん八 師匠
(第13回いわき寄席 H3.8.19)
福 寿

昔々亭 桃太郎 師匠の作品です。

第四三回記念いわき寄席 平成八年十月二八日

(演目) 不動坊、子別れ(通し)

第五九回記念いわき寄席 平成十一年十月十四日

(演目) 湯屋番、夏泥、五人回し



昔々亭 桃太郎 師匠
(第43回いわき寄席 H8.10.28)
明日は 明日の 風が吹く

「居宅介護支援事業所」開設のお知らせ

平成一八年五月一日より当法人でも居宅介護支援事業所を開設致しました。

名称

社会福祉法人 りんさく福祉会

望洋荘豊間居宅介護支援事業所

住所

いわき市小島町一丁目五番地2号（須田医院内）

電話番号・ファックス番号

（〇二四六）二七 七五九七

管理者及び介護支援専門員

赤間 千枝 菅野 剛

『居宅介護支援事業所』とは、

在宅での要介護認定者が各種居宅介護サービスを適切に利用する事が出来る様、利用者の心身の状況環境、本人及び家族の希望を踏まえ、利用する居宅介護サービスの種類、内容等を定めた。居宅サービス計画（ケアプラン）を作成すると共に、そのサービスが確実に提供されるよう、居宅介護サービス事業者との連絡調整や、本人が介護保険施設への入所を必要とする場合には施設への紹介や便宜の提供を行う事業所です。

開設のご連絡が遅れてしまいました事、誠に申し訳ございませんでした

「望洋荘秋祭り」開催のお知らせ

毎年恒例となりました『望洋荘秋祭り』を平成一八年十月十五日（日）午前十一時より左記の日程にて開催致します。

第三回

望洋荘秋祭り

日々、いわき七浜の潮騒が聞こえる「ふるさと」に想う
少数で構成された、まとまりのある家族的な生活空間で、
安心と寛ぎとゆとりのある居住の場を提供しています。

テーマ「入居者と家族と地域との交流」

日時 平成一八年一〇月十五日（日）
午前十一時〇〇分～午後3時〇〇分

場所 望洋荘多目的ホール（塩屋岬広場）
バザー 模擬店は一階事務所前より実施

内容プログラム

- 1 開会宣言
 - 2 理事長挨拶
 - 3 来賓者祝辞 挨拶
 - 4 余興
和太鼓・じゃんがらハーマイ万演奏
ソーラン節：等
 - 5 閉会宣言
- 模擬店コーナー
焼きそば
豚汁
フランクフルト
ジュース
ビール
- 綿あめ
カレーライス
焼き鳥
肉まん あんまん

お断り

駐車スペースに限りがございます。乗り合わせにてご来荘頂けます様お願い致します。
模擬店コーナーの商品には、限りがございます。品切れの際はご容赦ください。
食中毒防止の為、食べ物のお持ち帰りはご遠慮ください。

主催 介護老人福祉施設 望洋荘
後援 医療法人あさづら会 須田医院

『望洋荘秋祭り』は入居者様とご家族様・地域の方々とのふれあいを目的とした行事でございます。ご多忙の所、大変恐縮でございますが、何卒多くの方々にご参加頂けますようお願い申し上げます。

「ホームページ」開設のお知らせ

望洋荘も開設して3年目迎え、『望洋荘ホームページ』を開設致しました。職員が管理しているホームページでありお見苦しい所もありますが、是非ご覧下さい。

ホームページアドレス

<http://www17.plala.or.jp/boyo-so/>

今月の言葉その（倫理研究所編纂語集から）

当たり前前の

ことに磨きを

「ほんじょうてい凡事徹底」という。挨拶・返事・後始末といった、ごく当たり前のことでも徹底して取り組めば周囲が変わり、人生が変わる。まずは三カ月、心を込めて取り組んでみよう。

編集後記

『望洋荘』便り

平成十八年七月一日発行

発行所 いわき市

平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55 7373

FAX (0246) 55 7255